

2017年
5月27日(土)
12:00~13:00 (予定)

奈良県文化会館
2F 小ホール
奈良県奈良市登大路町6-2

前立腺癌 中・高リスクに対する 根治治療

座長

田中 宣道 先生 奈良県立医科大学 泌尿器科 准教授

講演
1

前立腺癌 中・高リスク群の根治治療
～手術 vs 放射線治療～

福森 知治 先生 徳島大学 泌尿器科 講師

講演
2

**中・高リスク前立腺癌に対する
I-125密封小線源永久挿入療法の有害事象対策**
～転ばぬ先の杖～

仲野 正博 先生 岐阜大学 泌尿器科 准教授

前立腺癌 中・高リスクに対する根治治療

講演1 『前立腺癌 中・高リスク群の根治治療 ～手術 vs 放射線治療～』 徳島大学 泌尿器科 講師 福森 知治 先生

近年、限局性前立腺癌の治療は劇的に進歩している。その中心は、ロボット支援手術の普及と小線源療法やIMRTなどの放射線治療の進歩である。本セミナーではロボット支援手術と小線源療法の治療成績と副作用を中心に、そのメリットとデメリットを再考したい。

略 歴

平成3年3月	徳島大学医学部卒業
平成12年9月	徳島大学大学院修了 医学博士
平成13年4月～平成15年3月	米国ミシガン州 Karmanos Cancer Institute 研究員
平成17年4月	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部泌尿器科分野講師
平成23年4月～現在	徳島大学病院がん診療連携センター長 徳島大学病院泌尿器科講師

講演2 『中・高リスク前立腺癌に対する I-125密封小線源永久挿入療法の有害事象対策 ～転ばぬ先の杖～』 岐阜大学 泌尿器科 准教授 仲野 正博 先生

中・高リスク前立腺癌に対する小線源療法の有用性は認知されてきている。しかし、放射線外照射やホルモン療法併用、排尿障害、血尿、直腸出血、二次発がんの可能性などが本治療の欠点と言われている。本セミナーでは、小線源療法に関連する有害事象の備えについて考えてみたい。

略 歴

平成3年3月	岐阜大学医学部卒業
平成3年6月～平成5年5月	国立病院医療センター泌尿器科(現:国立国際医療センター)
平成10年3月	岐阜大学大学院修了 医学博士
平成13年1月	岐阜大学医学部附属病院泌尿器科助手
平成14年10月～平成16年6月	虎の門病院泌尿器科
平成16年10月	岐阜大学医学部附属病院泌尿器科講師
平成21年7月～現在	岐阜大学医学部泌尿器科准教授